



多くのサギは、個体数が多く、目立つ場所にいるので見つけやすい。昼間活動するので行動観察も簡単。そして、けっこう思わぬ行動をしてくれて面白いものです。そこで、今回はサギ類に注目してみます。テーマはサギ類のちょっと変わった行動の広がりです。

●ゴイサギのイイ湯だな？

近所のため池を、毎月まわって水鳥をカウントしています。2014年7月31日、大阪府立大学の池にいった時、ゴイサギが池の中に入って頭だけ出していました。水浴びの途中ではなく、泳いでいるのでもなく、魚を狙っている感じもありません。ただ水の中に立ってボーッとしている様子。とても暑い日でした。水風呂に入ってるんだな、と納得してSNSに書き込みました。すると、関東のサギ研究者さんたちから、とてもいいリアクション。そんな行動をするゴイサギは、見たことがないといいます。その時、サギ研究者さんが教えて下さったこのサイト (<http://www.thewildbeat.com/2014/03/05/spa-day-for-a-night-heron/>) では、北アメリカのゴイサギが、私が見たのとそっくりなことをしています。

同じゴイサギが、大阪と北アメリカで同じ事をして、関東ではしていないらしいとは、不思議なものです。

●そういえばササゴイのまき餌漁も

ササゴイのまき餌漁というのを聞いたことあるでしょうか？ パンなどを水に浮かべて、魚をおびきよせて捕獲する行動です。北アメリカのササゴイでは1950年代から知られていて、日本では1980年代後半に熊本県から最初に報告されました。

黒沢・樋口（1993）は、このまき餌漁が世界各地にどのくらい広がっているかを、文献と問合せによって調べた結果を報告しています。それによると、日本で最初の記録は、1977年の山梨県にさかのぼります。そして1993年時点では、岩手県から鹿児島県まで、ササゴイの生息域全体で、広く観察例があります。ただ観察例が多いのは、熊本県が一番でした。

世界的には、北アメリカ南東部と日本での情報が多いのですが、東南アジアやアフリカでも記録があります。



図1：ササゴイ（泉大津市 2013.5 納家 仁）

一部のササゴイしかしない行動のようなのに、同時に広い範囲で観察されるというのは不思議です。

●サギにはこんなスゴ技も

次のサギのスゴ技は、波紋漁です。まき餌漁が、パンや昆虫、葉っぱなどを水面に落として魚をおびき寄せると対して、波紋漁では自分のくちばしを水に少し浸けて、波紋をつかって魚をおびき寄せます。

コサギによる波紋漁が1988年に広島県で、ゴイサギによるものが2002年に東京都で、日本で最初に報告されています（坪島1994、濱尾ほか2005）。海外では、アマサギやダイサギ等でも記録されているそうです。

あまり誰も注目してこなかっただけで、密かにあちこちのサギが波紋漁をしているのかもしれない。



図2：コサギ（泉大津市2008.3 納家 仁）

●野外で実際に観察してみよう

このように、サギはさまざまなスゴ技を持っています。近所のコサギやアオサギでも、行動をじっくり観察したら、思いがけない行動に出会えるかもしれません。

実をいうと、ゴイサギの水風呂は、昨年7月以前にも何度か見たことがあるように思います。ただ、関東のみなさんに指摘されるまで珍しいとは思わず、わざわざ記録していませんでした…。ちょっと面白いことをしているとと思ったら、ちゃんと記録しておくことが大切だと反省しました。記録を蓄積することで、そうした行動が大阪や日本で、どのように広がっているのか、広がっていくのが、明らかになるかもしれません。

今度、サギを見かけたら、なんか面白いことしてないかな？ と改めて観察してみてもはどうでしょう。

●引用文献

- 黒沢令子・樋口広芳（1993）ササゴイ *Ardeola striata* のまき餌漁の種類とみられる地域特性. *Strix*, 12: 1-21.
坪島 遊（1994）コサギ *Egretta garzetta* によるくちばしを疑似餌とした採食行動. *Strix*, 13: 221-223.
濱尾章二・井田敏明・渡辺 浩・樋口広芳（2005）全国サギ類の餌生物を誘因・攪乱する採食行動 波紋をつくる漁法を中心に. *Strix*, 23: 91-104.

和田 岳（わだ たけし）：本会幹事、大阪市立自然史博物館学芸員。HP「和田の鳥小屋」
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/wada/wada-index.html>